

『時事直言』 No.818 2013 年 4 月 5 日

時事直言ホームページ：<http://chokugen.com>

時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokugen.com>

FAX：03-3955-6466



時事評論家 増田俊男

黒田新日銀総裁の賭け！

4 月 4 日の日銀金融再策会合の結果は世界に「驚き」を与えた。

何が驚きかというと、日本が遂にバーナンキ議長率いる FRB（連邦準備理事会）の金融政策指針に追従したからである。

黒田日銀の決定事項は概ね下記である：

- *「日銀券ルール」等、白川前総裁まで続いた通貨規律を無視、
- *金融緩和の基準を翌日物（コール市場）金利からマネタリーベースに変更、つまり市場の需給無視で、2014 年末までに 138 兆円（2012 年末現在）資金供給量単純に 270 兆円に拡大する

- *長期国債の購入も年で 2 倍強の 190 兆円に倍増する、

- *リスク資産である ETF（上場投資信託）や ETF（不動産投資信託）の買い入れを倍増する。

- *長期国債を月 7 兆円規模で買い入れる、(FRB は月約 8 兆円規模)

- *物価 2%を 2 年までに達成する為には「何でもする」

正に「2 年間に何でも倍々緩和」である。（倍々には何の根拠もない）

従来の「責任（通貨発行規律）ある日銀」からの 180 度の政策大転換である。

「倍々ゲーム緩和政策ショック」でニッケイ株価は 13,000 円を抜き、ドル・円では 97 円に接近している。

私の予想の「年内 15,000 円」は変わらないが、日銀の大胆な決定は、言わば一種の円安介入だからアメリカ、欧州、中国、韓国の国際競争力を落とすことになる。

「ここ一番！」の読者には 4 月 2 日に「今日は買いのチャンス」、今日は「売りのチャンス」とアドバイスした。

株価は日銀の政策だけで動くものではないので、今後はアメリカ経済動向によって影響を受ける。

ドルは国際通貨、ユーロも欧州の共通通貨、円は日本だけしか通用しないローカル通貨。

今は「浮かれて」いてもいいが、ローカル通貨の日本が世界の通貨発行の自由裁量権を持つ FRB や欧州通貨の ECB の後を追うとどうということになるかは 1985 年のプラザ合意後の 1988 年から 1991 年に何が起き、その後 20 年間日本経済がどうなったかを思い出せば分かる。

今後株も不動産もバブル化するが、賢明な読者は是非本誌を読み続けて欲しい。

必ず「奈落の底」に落ちる 30 日前にお知らせします。」

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在大好評配信中の増田俊男の「ここ一番！」。本年中ニッケイ 15,000 円！来年夏までに 18,000 円！世界のマネーが日本に向かう！刻々と変わる相場を先読み、即座にアドバイス。

購読期間は、3 ヶ月、6 ヶ月、12 ヶ月と 3 プランご用意しています。詳しいご案内、お申込みについては増田俊男事務所（Tel：03 3955-6686、HP：www.chokugen.com）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前に株式会社増田俊男事務所（Tel 03-3955-6686）までお知らせ下さい。